

# 東京龍門会報

発行所  
 東京都江東区塩浜2-4-20  
 深川物流センター7階  
 今村電機株式会社内  
 電話 03 (699) 3791~2  
 東京龍門会  
 発行人  
 今村 彬

## 会場を埋めた 同甘共苦の友



パーティ乾杯

「総会を祝うがごとし五月晴れ」とへたな一句も口吟みたくなるような晴天の、去る五月十日(土)に例年の会場である三州クラブ(品川区上大崎一)で、東京龍門会の61年度の総会が開催された。思えば過去十三回一度も総会の日が雨天に会ったことがない。よほど会員各位の心がけが日頃良いとみえ、ただ感謝するばかりである。

さて総会には同甘共苦の友である同窓生約百三十名程の方々が参加され、郷里の方から母校の伊地知武志学校長と新納数義同窓会長が、そして恩師の吉村道子先生(旧姓小浜、昭22、27体育担任)が来賓として列席された。総会は午後二時三十分酒匂昭男副会長の開会の辞で始まり、今村東京龍門会会長、伊地知学校長そして新納同窓会長の挨拶がそれぞれ行われた。(要旨後記)

その後議事の審議に入り60年度の事業活動と会計の監査報告が、続いて61年度の事業計画案と予算案の説明が長谷場純一郎幹事長からあり、いずれも満場一致で承認された。それによると今年度は総会の

開催、会報の発行、囲碁・ゴルフ等同好の集い、母校90周年記念行事への協力、総務・組織・事業・広報等の各委員会の設置、総会欠席者に総会概要と年会費払込みのアピール等が計画案として示された。とどこおりなく総会も終りパーティに移った。パーティでは先輩・後輩が郷里の焼酎である「薩摩隼人」で盃を交わしながら和気藹藹のひとときを過ごし、午後五時半頃一年後の再会を約し散会した。なお小里貞利代議士より祝電と焼酎が、浅草橋の誠鐘と常盤経木製作所より清酒を、郷里の加治木酒造協業組合より焼酎「薩摩隼人」の寄贈があり、みんなで美味しくいただいた。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。

### 甲子園出場も 夢でない野球部

伊地知中学校長は昭和20年に旧加治木中学を卒業された同窓生、この四月から母校の校長に就任された。在学中は戦争末期で当時の苦しかった想い出話と、現在の母校の近況を話された。それによると勉学もさるこ



とながら、スポーツその他の生活指導や奉仕活動の体験を通して人間性の確立をめざしている。学校行事の一つである「集団駆足訓練、耐寒訓練、校内持久走大会」と「勤労体験学習(2年)」は県下でも類を見ない特色ある活動だといえる。スポーツ面もサッカーは県下レベルで3位ぐらいにあって、バレー、テニス、野球等でも水準は高くベスト4に入れるのも時間の問題だろうである。来年は90周年を迎えるが、ただ単にお祭りに終らせずこの機会に数多くの優れた先輩達を輩出した母校の歴史をふりかえり、在学生に誇りと明日への希望につながる価値ある90周年の行事にしたい。また日頃の同窓生のみなさんの心あたたまる母校への協力に感謝の意を表された。

### 90周年記念行事に

### ご協力を!

東京龍門会の総会には毎回出席していただき、郷里の出来事について有意義な話をしてくださっている新納同窓会長も今回はちよつと勝手が違った。母校の90周年記念行事を遂行するに当たっての募金をみなさんにお願ひしてこい、と上京する前日に厳しく言い渡されてこられたのだそうである。だから今日は記念行事へのご協力だけをお願いするとして、お話ししようと思つて「黎明館」のことについては次回に詳しく話したい。



ただ一言、郷里を離れてお子様を育てておられる皆さんの中で、子供さんを自分が育つた鹿児島という環境と結びつけて育てたいとお考えの方がおられたら、夏休みにでも子供さんと一緒に鹿児島へ帰り是非「黎明館」をご見学いただきたい。お子様が黎明館をご覧になると、その中に脈々と流れている「薩摩魂」というものを体を通して酌取つて

いかれるのではないかと思つております。そのために黎明館を詳しくご紹介しようとパンフレットまで用意されてこられた。しかし終止募金への

### 〈会長挨拶〉

## 知恵を出し合う同窓会へ

東京龍門会会長

今村 彬(高2)

本日は多数ご参加くださいます。ましてありがとうございます。母校の学校長もこの春お変わりになり、新しく同窓生である伊地知武士(中・昭二〇卒)先生が就任されました。今日ここにご出席いただきうれしく思います。また同窓会長の



今村彬会長あいさつ

協力依頼で終り、このことについては会員の皆さんの手元に文書が届いているかと思うので割愛します。

新納数義先生も元気で毎回ご出席くださっております。ご挨拶申し上げます。

昨年(昭二四卒)さんが急死されたことを申しあげました。また今年も去る四月にやはりこの会の監事をお願いして、いろいろ会のためにご尽力いただいていた篠原肇(中・昭四五・六卒)さんが、仕事の打合せ中に突然倒れ帰らぬ人となりました。病名はクモ膜下出血だったそうです。日頃親しくさせていただいていて、体のことには気をつけておられた方だっただけに信じられない思いがしております。我々中・高は健康には充分すぎるほど注意していかなければと

つくづく思っている次第です。また恩師の長浜恵先生(昭61・7 数学担当)が昨年の七月に亡くなられ、85才だったそうです。奥様の話では、加治木は想い出深い所であったとつねづね話しておりました。皆様によりしくお伝えくださいますことでした。

さて皆さんもご承知のようにに円高で経済情勢は苦しい状況にあるようです。私も小さな会社を経営しているのですが、20年来やってきました製造の仕事も輸出が延び悩み仕事も減り、サービスの方の仕事をやっておりましたお蔭で何とか不況を乗り越えていたといった状態です。今までかつて経験したことのないような苦しみを、これから味わっていくかなければならないのではないかと気がしております。と言いますのは私が申しあげるのは僭越ですが、日本では政治や経済面その他のことにしても、今まで欧米諸国でなされてきたことを基に

かごしま特産  
本格しょうちゅう  
金盃 隼人  
加治木酒造協業組合  
鹿児島県姶良郡東郷町内1103  
TEL (09954) 2-2361

それを追って事の方針を決める、いわば何かにつけて真似てきていたという感じがいたします。ですからここにきてオイルショックや円高というのは、日本でなくては解決出来ない。また教科書にないようなことをやっていかなければいけないようになった時代に変って来たのではないのでしょうか。特に我々がこれから生き延びていくためには、いろいろな知恵を絞っていかなくてはならない時代に入ってきていると思います。ですからこの様な会で、お互いに知恵を出し合い意見を交換しながら一人一人の能力や経験を皆さんで分かちあい使ってもらおう。このような交流の場にこの会をもつていけたら良いのではないのでしょうか。

東京龍門会ではいくつかの事業を企画しておりますが、充分な活動も出来ず申し訳なく思っております。今年は今科会のようなもの設け、会員の知恵を出しあい運営の活性化を計りたいと考えております。

母校も来年は90周年を迎えその式典が行われます。我々が現在このように生活しておられるのも親があり、学校が

あったればこそこのことで、学校で基礎教育を受けさせてもらったお蔭であることを忘れてはならないと思います。このような意味から母校が良くなればその卒業生もまた良くなるというところもあるだけに、母校を立派にすることに協力をおしめしません。90周年の式典に当りその企画に、東京龍門会としては会員の皆さんと共に出来るだけ協力させていただきます。健康をお祈りいたします。

とりとめもない話になりましたが、この会を益々発展させていくよう皆さんのお力添えをお願いすると共に、母校の発展と皆さんのご活躍・ご健康をお祈りいたします。

### セーラー姿の娘時代が懐しくって

幽芳会 彦野 すみ子  
(高女17)

旧加治木高女が東京龍門会と合併して早や十一年の歳月が流れ、昭和五十二年五月三州クラブで幽芳会を開き皆様の御意見で東京龍門会と一本化することに決定しました。でもやはり、「男女七才にして席を同じくせず」の時代に教育を受けた私達

にとつて、女性のみの同窓会を、と先輩・後輩の多くの方々から催促され、それでは誰かが発起人になって実行しなくてはと、庄村さんと私で打合せして、六十年の十月十五日、東中野の日本閣で八年振りに開催いたしました。名簿から見ますと、百二十五名位ですが、八十枚程の案内状を発送し、はたしてどの位出席して下さるか不安でしたが、三十六名の方が御出席して下さいました。欠席された多数の方々からも、残念ながら出席出来ない理由等のお便りを頂きました。

久方振りにお逢いする皆様はともお元気で、希望がかなえ



られたお気持ちで、セーラー姿の娘時代に返った様に生き／＼として楽しい和やかなひとときを過ごす事が出来ました。女性はお喋りですからお話す事が一杯あるのです。あの故郷のシンボル、ざおう岳、天神さん、私達の青春時代の母校愛と共に永久に変わぬひとこまで。

学生時代のお友達はかくし事がなくいくら気取っても、お互いに知りつくしているので気楽で心を開いてお話が出来、のんびりとしみます。同窓会の良さと申しましようか、心の洗濯になりストレス解消にも一番の妙薬です。気候も最高、またお料理も日本料理・洋食・中華とさすがの大食漢の私でも満腹で、残すのがもったいない位でした。私達の同窓生の皆様はお子さんも成長され、お孫さんのいらっしやる方も多く、また頭も白いのが目立つ年令です。これからは御主人様と二人だけの生活が始まる方が多いと聞いております。

高齢化社会になって参りましたので、お互いに体に気を付けて、悔いのない人生をおくりたいとつくづく思いました。これを機会に二年に一回幽芳会をやりますようにと約束して名残りは尽きませんでした。記念写真を取り散会いたしました。

母校の繁栄と皆さまの心身共に健全であり、御多幸をお祈りいたします。

### ミニ通信

○週刊誌にて加治木高校出身の大進学率のみごとなことを知り、ご同慶の至りです。

(中・大4卒 宇都宮直賢)

○ようやく癌にうち克つたようです。但し後遺症に責められています。(中・大5卒 秋山邦雄)

○母校創立90周年を迎えるに当り在校当時を回想し感慨胸にせまる思いです。当時の加中校訓は「質実剛健」であり、在校生のしつけはもっぱら上級生によって行われた。その手法は荒々しく、特に土曜日の午後の体育館での低気圧は下級生にとって、身の毛のよだつ思いでした。まさに「鉄拳の嵐館に渦く」の情景が胸裡に出来るのです。あ、歴史は遠く紅雲の彼方

### 会費納入にご協力を

会費の納入について 早めに納入していただくよう 会員各位のご協力をお願いいたします。

### 会員所在の情報を

住所、勤務先、電話等に 移動のあった人は、また知り合いでそのような人がおられたら、各期の幹事の方へ情報を提供してください。 ようお願いいたします。

へ。(中・昭2卒 大八木敏夫)  
 ○脳血栓の後遺症は、容易に快復  
 しません。母校の繁栄をお祈りし  
 ます。(中・昭3卒 泊 正徳)

○生活の中で老化防止に努めてい  
 ます。(1)頭の老化防止、仕事を続  
 ける。(2)脚腰をきたえる為毎朝歩  
 くこと。(中・昭4卒 荒巻義也)

○鎌倉の鶴岡八幡宮所有の武道館  
 で管理事務を担当し、柔剣・合気  
 道・弓道の指導をやっています。  
 折りがあつたらお立寄り下さい。

(中・昭7卒 瀬戸口紀夫)  
 ○加中一年(昭3)のころ龍門の  
 磯からプール作りの石を大八車に  
 積んで皆んなと運んだ。奉仕の日  
 をフツと思ひ出します。

(中・昭8卒 持留正央)  
 ○昨年からのこれまでの警察大学の  
 他に国士館大学の講師として、若  
 い人達に接する喜びを味わって、  
 お蔭でとても元気です。

(中・昭13卒 小城 正)  
 ○政局の動きはあわただしく、金  
 婦月来で動いています。会員の皆  
 さまの御健勝を祈ります。

(中・昭14卒 村山喜一)  
 ○毎朝早く石神井公園を中心に一  
 時間余りの散歩と、池畔での吟詠  
 で声を出すようにしております。  
 また時には竹刀で素振りをしたり、  
 ゴルフを楽しんだりして足腰が弱  
 らないよう努めています。

(中・昭7卒 立山清治)  
 ○もうそろ／＼よかパートナーが  
 出現してくれないものか? 占に  
 依ればあと21年以上の余命とか:  
 …なれば此のはがきも21回以上往

復する訳か! オヤットサーゴ  
 アンド(中・昭14卒 永野秋則)  
 ○昭和十八年加中卒業式の前に満  
 州建国大学入学のため渡満、二年  
 後学徒出陣、夢つぶれて復員、若  
 い方々にはサツパリ分らないこと  
 だと思ひます。東京電力を定年そ  
 して東京電気工務所へ。龍門会に  
 は初めての出席、浦島太郎の気持  
 です。(中・昭18卒 荒田益夫)

○弟篠原肇が突然クモ膜下出血で  
 去る四月十八日逝去しました。生  
 存中は色々お世話になりました。  
 また告別式には同窓生の方々が多  
 数ご参列くださいました事にお礼  
 申しあげます。人生のはかなさ残  
 念さで胸一杯です。故人に代って  
 お礼申しあげます。皆様も充分体  
 に気をつけ、無理のない日々をお  
 送りくださいませ。

(女・昭17卒 彦野すみ子)  
 ○時限爆弾の不規則に破裂する音  
 といまにも頭上に落ちてきそうな  
 落下音におびえて、諏訪神社裏の  
 防空壕の片隅でうずくまっていた  
 もうその日も40年も前のことです。

(高・昭24卒 篠宮 明)  
 ○加治木高女を卒業して五十八年  
 の歳月が流れました。上京して十  
 五年いつまで経っても田舎者で通  
 っています。七十五才になり寄る  
 年波は争われず昨今脚腰が弱りま  
 したが頑張っています。

(高女・昭3卒 是枝登那美)  
 ○戦後四十二年で創立90周年、42  
 期の私どもにとって加中創立後の  
 成長がどんなものであったか関心  
 のあるところです。同じ42年間外

面的にも内面的にも目を見張るも  
 のがあつたと思ひ将来に期待して  
 います。(中・昭18卒 浦野八夫)  
 ○食糧の乏しかった戦後上京して  
 33年になる。郷里国分の上井はい  
 つも気にかかる。道路が整備され  
 町並みもすっかり整って来たよう  
 であるが、郷里はまことに暖かい  
 所である。苦しいとき悲しいとき  
 故郷は何よりも心をいやしてくれ  
 る。(中・昭20卒 中村 登)

○我々が高校一年になった時、確  
 か創立50周年の式典が、戦後の混  
 乱もあつたのでしよう。一年遅れ  
 で行われたようでした。もう40年  
 も経ったかと思うと感無量です。

(高・昭26卒 本田 一)  
 ○五十の手習い、更年期もどうや  
 ら過ぎたようで、運転免許をとり  
 一番楽しい時期です。湘南海岸の  
 ドライブは若返るようです。

(高・昭28卒 有川蓮美)  
 ○故郷をなつかしく思う年になり  
 ました。「つけあげ」を望郷の想  
 いで食べています。

(高・昭29卒 立山一夫)  
 ○「薩摩路を旅してきたと人の言  
 う、目をつむりて故郷の友を探る  
 幼きころの故郷、今だ鮮か」  
 昔は桜島の灰が学校まで降って来  
 ることはなかつた様に思ふのです  
 が、変わったものですね自然も。

(高・昭37卒 矢口裕孝)  
 ○失礼いたしております。昨年来  
 九州・広島地区の営業担当として  
 福岡に常駐することになりました。

(中・昭18卒 石野清海)  
 ●ご存知ないですか?  
 左記の方々は、転居先不明で  
 郵便物が返送されています。どな  
 たかご存じないでしょうか。面倒  
 でも事務局(03)六九九一三七九一  
 へご連絡ください。(内の数字  
 は卒業年度です。(26は昭和26年  
 度卒))

万膳 稔(9)、島本 司(16)、  
 上野 悟(22)、田尻汀子(26)、前  
 田利明(27)、小坂高嶺(27)、井上  
 高德(28)、岩下 博(28)、武村桂  
 子(29)、井上 脩(32)、柚木ワキ  
 子(32)、中村政雄(32)、堂免悦子  
 (33)、平田和男(34)、堂免十尋  
 (34)、広田伸也(38)、立元初雄  
 (40)、橋口祥二(42)、谷口幸一  
 (42)、外山高明(43)、橋口恒子  
 (46)、中村憲史(47)、梶山房子  
 (47)、米増主登(51)、東鶴昭子  
 (52)。

おじやったもんせ!!

味処「誠 鏡」

総武線の浅草橋駅下車、秋葉原寄りの改札  
 口を出る。目の前にあるのが池田順子(旧姓  
 黒木、高・昭26卒)さんのお店。落着いた和  
 風造り、30人は充分に入る。焼酎は本場の鹿  
 児島、清酒は広島産、料理は美味にしてその  
 数40数種、姉ちゃんも綺麗、午後5時から11  
 時まで、一杯イケンナ!

住所 台東区浅草橋一―二三―四  
 電話 八六四―一六三―八

焼肉レストラン「さわらび」

焼肉はタレが決め手。肉もさることながら  
 タレの絶妙さで好評。當むは長野忠雄(高・  
 昭30卒)さん。私鉄の池上線か大井町線の旗  
 の台駅下車、文教女子短大方面へ徒歩一分、  
 文房具屋さんの2階、明るい店内に無煙式焼  
 肉用セットが10台、ロース、カルビ……なん  
 でもある、ないものはない。郷里の焼酎もある。  
 午後5時から12時半まで。元気がテッド!

住所 品川区旗の台三―十四―二  
 電話 七八六―〇三〇六